

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

山本均 議員



青沼村長の4年間の総まとめは？

問 光回線島内網整備が完了
村長に就任されて4年目に入った

が、村の現状をどう認識しているか？村の問題点はどこにあり、どんな施策をやってきたか？今後、村をどうしようとしているのか？

答 新島中学校の新設
移転、ごみ焼却場更新工事など大きな基盤整備事業があり、中でも光回線島内網整備により超高速ブロード

バンドがスタートし、今後、様々な分野で地域活性化につながるものと期待する。

急激な少子高齢化、人口減少は問題であり、産業の活性化、人材の確保等課題は山積している。

今後とも住民とともに取り組んでいきたい。

村長はいかにして若者の人口を増やすのか？受け入れ態勢の整備を検討

問 若年者が減り続けると村社会はどうなるのか？村はどんな対策を実施してきたのか？今後どうしていくのか？

答 消防団をはじめとする地域団体やコミュニティ団体が現行制度の元で維持継続することが難しくな



完成した真新しい焼却場。

る。また生産年齢人口の減少に伴う各産業の生産性の低下が考えられる。

これまで妊産婦の交通費・健診費助成、空

き家バンク・定住化体験住宅などの施策、農業・漁業の就業促進および後継者育成事業を行ってきた。

今後は受け入れ態勢

議会にいきかう言葉

今回は議会の議事進行を陰で支える裏方の話。

議場、前方中央のヒナ壇の左側に小さく固まった一団がある。メンバーは3名。議会事務局員1名、他は総務課の助っ人。機械からの音声や映像に気持ちを集中する。議長のシナリオの進行をチェックし、録音状態に気を配り、映像の切り換えをす

る（議場には中央、前方と後方に一台ずつのカメラが設置されている）。

録音は後の議事録作成に欠かせない。映像は同時中継と録画の再生のためのものである。前年度事業の光ケーブル導入で確実に視聴でき、注目度が上がっている。

私たち議員は一層心してかからなければならぬ。

の整備を検討していき
たい。
きの進捗状況はどんな
ものか？

答

式根島の公共下水道はどうなっているのか？
現行計画の継続実施を決定

式根島の下水道事業は一年先延ばしになったが、事務手続

本年3月の「新島村特定環境保全公共下水道事業式根島処理区事業計画」の一部変更に係る縦覧期間中、23名の住民から現行計画や同事業の反対の意見書の提出があった。

これを受けて事業を1年先送りし、今年度に意思確認をし、さらに計画変更の可否も含め検討するとした。

7月以降現行計画の実施を要望する署名が275名の住民から提出された。このことで住民意思の総合的同意があったものと判断し、10月に現行計画の継続実施を決定した。

今後の予定は来年度に処理場及び管渠整備事業補助金を申請し、平成32年度から着工、以後、逐次整備を推進していく。

島外病院へ通院・入院する際の交通費等の助成の中身は？

1回につき8千円を助成

この助成の中身は
どうなっているの
か？予算の原資はど

答

「新島村島外医療機関受診に係る交通費等の助成要綱」では対象者を65歳以上と19歳未満にした。付

添いが必要な場合は介助者として助成を受けられる。一人当たり1回につき交通費は往復4千円、宿泊費は4千円を助成する。回数は



航空運賃の割引と交通費の助成で利用が増えるのでは？

年 4 回までとし、医師の証明は不要。

今回の原資は予備費や他の事業の精査で捻出した。今後は他島の町村と協議しながら東京都に財源要望をしていきたい。

大沼弘一 議員



村の産業振興策はどのようなものなのか？

各産業の後継者の育成を急ぐ

問

現在、村ではさまざまな事業を展開しているが、地域の活性化の一丁目一番地は

産業の振興かと思う。村長就任から三年間が経過し、各団体との面談等で見えてきた課題及び振興策はどのようなものか分野ごとに伺う。

答

各産業団体と話し合い、ご意見を伺い事業支援をしてきたが、高齢化が進み後継者不足などの影響で生産額、出荷額、水揚げ額は減少しており、現状維持さえ困難な状況となっている。

農業、漁業は後継者の育成が急務であり、漁業体験等を行っております。水産加工業も後継者がなく廃業する商店も出ている。観光業も後継者が無くやめる方もいるが、新たな展開としてゲストハウス等のお客様のニーズにあわせた宿泊業が展

開かれ、今後の動向に注目している。商店等は商工会と連携し検討していきたい。

問

要望を伺うだけでなく、積極的に分析し振興策を検討してはいかがか？現状では KPI（数値目標）の達成は可能と考えるか？

答

KPI の達成はなかなか難しいと認識している。要望を待つだけでなくできることからやっていくようにする。

青沼弘 議員



空き家対策は進んでいるのか？

空き家バンクへの登録を申請、特定空き家認定を進める

問

空き家対策の進捗状況と今後の対応を伺う。

答

新島村空き家対策計画に基づき、村内空き家の基礎調査を行い登録された島外在住の所有者に対し、利活用に関する意向調査を実施した。

アンケート送付件数は 80 件で回答は 53 件であった。建物の多くは季節限定の使用で、全体の 50・9% を占めている。年間を通して使用実績がない空き家に該当する物件は 12 件で、全体の 21% になる。今後は利活用の意向のある所有者には、空き家バンクなど村の各

種制度の資料提供等を行い、個別に対応していきたい。

一方、利活用の意向がなく、かつ危険度の高い老朽空き家の所有者には、計画に沿って特定空き家の手続きを実施していく。



なぜ歯科技工士がいないのか？

現状のままが効率的

問

歯科技工士を配置するのはできないのか？

答

歯科技工士を招聘すると現在、分散している技工所への製作依頼件数をすべて一人でこなすことになる。



本村診療所内の歯科の治療中の様子。

そうすると人件費・機械器具費・原材料費など年間経費は増大する。さらに休暇等の取得により、結果的には現在より時間がかかる。これらにもなりかねない。これらのことから総合的に勘案し現状と比較すると、現状のままが効率的と考えている。



木村諭史 議員

若郷会館の地域交流拠点としてのさらなる活用推進は？
効果的な備品整備等を行なう

問 若郷会館の利用実績が堅調に伸びている。若郷地区住民は

もちろん、キッズルームや各種交流事業においても、本村など若郷以外の地区から・転勤してきた公務員世帯・親子での利用も多くみられ、豊かな島体験と島暮らし定着の貴重な場となっている。若郷



若郷会館での多世代交流事業的一幕。90名近い参加者が楽しんだ。

会館のさらなる活用促進として、①企画書・アイデアを常に更新できるようなプロジェクト、②地域子育て支援拠点や福祉の拠点とし

ての実現可能性、③戦略的な予算活用を検討するのはいかがか？

答 若郷会館の利用者が年々増加していることは大変喜ばしい。

場となっている。若郷

今後も利用者、地域住民の意見を伺いながら、効果的な備品整備等を行っていきたい。

コーガ石まちづくり事業発足の提案

幅広い検討が必要、準備会を考える

問

11月3、4日に開催された新島抗火石建造物調査会による文化講演会・文化財ウォークは大盛況であった。講師との意見交換の中で、新島独自のコーガ石資源や石のまちなみのすばらしさに改めて気づかされた。

一方の課題として家屋や塀の劣化、寺社仏閣含めた保全のための石の確保、熟練の石工・職人の減少と技術の継承も挙げられた。

観光振興・地域振興・防災対策を踏まえて

コーガ石を軸にしたまちづくり事業の価値は高いと思う。そのため第一歩の準備委員会を始めてはいかがか？

答

コーガ石を使用した建築物は、文化財保存の観点から見ても世界的に非常に珍しい景観となっている。今後、教育委員会と博物館で保存継承などの検討が考えられる。

コーガ石を軸にしたまちづくり事業は文化財の保存、観光振興、まちなみづくり、防災対策を踏まえた幅広い検討を要する。準備会などもこれから考えさせていたきたい。



サテライトオフィス事業への取り組みは？ オフィスと住宅の確保を検討

問

本社とは別の遠隔地で業務を行えるサテライトオフィス事業やテレワーク受け入れの需要が高まってきている。特に小池都知事は新島村訪問の際に『究極のテレワーク

島に住んで自分の仕事をするのは、これからは「あり」ではないか』と発言している。

答

このような流れを受けた現在の取り組み状況、今後の体制、各地区の遊休施設の活用や増室・増設の検討は

いかがか？ この事業に対し、村は何ができるか実施判断する際は長期的な視野でインターネット環境の整備が必



サテライトオフィスの一例——徳島県・神山町。

要となってくる。最低2〜3室確保しなければならぬが、現状の村施設に増室することも含めて検討する。この事業は年間単位での滞在が必要なことから、参加事業者の住居の確保が最重要事項となる。次の段階としてシェアハウスとのセット運用も効果的と考えている。